

グループ・ディスカッションⅡ		専任教員			
配当年次	1 年次	配当学期	2 学期	科目区分	プロジェクト研究
単位数	2 単位	必修・選択	必修	授業形態	演習

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標 / Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion) , Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識		
	実践知識	○	研究テーマに相応しい適切な思考・発想方法および分析手法を身につける。
技能	分析解決技能	◎	的確な課題設定および課題解決を可能とする能力を身につける。
	実務技能	○	問題処理能力や、財務・会計処理能力を身につける。
	新規事業技能	○	事業構想に関わる能力を身につける。
態度	倫理観態度		
	企業変革態度		
	地域リーダー態度		
	国際協調態度		

※ ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

グループ・ディスカッションⅡ

授業の概要 2年次のプロジェクト研究へと繋がる準備ステップと位置づけられ、自分の研究テーマを深掘りするための思考方法や分析手法を習得していく。成果は、グループでレポートを作成し、発表・報告する。授業運営は、4名程度からなる小グループをベースとする（研究テーマに応じて1学期の小グループを再編成する）。小グループ毎に専任教員が指導にあたる。なお、研究テーマが類似するグループ同士はユニットを組み、ユニット内でお互いの情報を共有し合いながら討議内容の充実を図る。

教科書 初回時に指示する

参考書 初回時に指示する

- 授業計画・内容**
- ① イントロダクション
【グループディスカッションのねらいと意義】
 - ②～④ 課題討議1
【ディスカッションによるテーマ設定】
 - ⑤～⑧ 課題討議2
【文献調査およびディスカッション】
 - ⑨～⑫ 課題討議3
【調査研究手法の学習およびその適用】
 - ⑬～⑭ 報告書作成
【議論を元にした報告書作成】
 - ⑮ 発表会
【プレゼンテーション及びディスカッション】

成績評価の方法 グループレポートの成果物、討議に対する貢献度、調査研究の姿勢などをもとにして総合的に評価する（100%）

事前・事後学習の内容 必読文献資料を事前に配布、指示する。履修者は適宜、個別の担当教員の指示に従い、事前・事後学習を進めること

履修上の注意 授業内容を生かして、グループメンバーが主体的に研究成果物を仕上げていくこと。

担当者からのメッセージ 本科目に関しては今後、「技能」の獲得を主眼に、PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）の指向性を強める方針である。例えば、ブレイン・ストーミングの結果を形にする技能。先行研究を涉猟ひ、しっかりとした成果報告書を作成する技能。効果的なプレゼンテーションを実施する技能。それらの技能の獲得に期待が寄せられる。

キーワード ブレイン・ストーミング、プレゼンテーション、プロジェクト・ベースド・ラーニング